

石巻専修大学

石巻専修大学「ホームページ」 http://www.isenshu-u.ac.jp

代表電話番号
0225 (22) 7711
広報専用FAX
0225 (22) 7809

全国大学対抗簿記大会で優勝

今年も2、3級の団体・個人戦制す



▲今年も大健闘した「石巻会計研究会」メンバーと顧問の岡野准教授(右端)

簿記のインターカレッジ「08年春季全国大学対抗簿記大会」(資格の大原 大原大学院大学主催、毎日新聞社、イタリ略)。
▲大使館後援)がこのほど全国15会場で行われた。114大学が参加し、熱戦を繰り広げた結果、本学のサークル「石巻会計研究会」が昨年に続き、
▲団体戦2級の部)優勝
▲石巻会計研究会A
▲団体戦3級の部)優勝
▲石巻会計研究会C
▲個人戦2級の部)優勝
▲泉佳範(経営3・石巻)

理工学部生物生産工学科の高崎みづる教授は6月10日、「ナノバブル」と呼ばれる微細な気泡によって、サクラエビを冷凍せずに生きたまま出荷することができると発表し、開発したと発表した。
装置は静岡原由比漁業協同組合などと共同で開発した。魚介類を入れる1・4リットルの水槽2基のほか、ナノバブルで酸素を水に溶け込ませる槽、空素やアンモニアを除去する

サクラエビを生きたまま出荷

生物生産工学科 高崎教授が開発

海にいますが、夜間はプラントンを求め、30〜60分の浅瀬に上がって、京・築地まで届けたいと、サクラエビは密集さる。漁はこの時間を狙って行われるが、サクラエビに保存法の開発を依頼しを分泌して死んでしまう

が、おがくすを利用した特殊フィルターの開発でクリアした。
このほどNHKテレビやラジオがこの研究成果を取り上げ、静岡放送局のアナウンサーが生きたサクラエビを新幹線で東京のスタジオまで運ぶことに成功した。
生きたエビを東京に届けるという同漁協の長年の夢が、高崎教授の協力により、実現しそうだ。

“観光開発”で意見交換

ISプロジェクト開く



▶経営学部・清水特命教授が講演

本学と石巻信用金庫「地域活性化に向けた連(高橋賢志理事長)による「ISプロジェクト」は6月13日、石巻地域の経済や交流の活性化策について検討する「観光から地域(まち)をつくる交流広場」の第1回会合を本学5号館で開いた。当日は約70人の参加者が観光開発の在り方などについて活発な情報交換を行った。
会合では話題提供として、本学経営学部の清水



▲研究発表する鈴木英勝・理工学部生物生産工学科助教

IK地域研究員が発表会

本学教員が研究をわかりやすく
2007年度IK地域助成金により、石巻地域の文化・学術の振興を図る研究者のこと。発表会が本学4号館で6月5日と7月3日に行われた。当日は多くの市民が研究成果に耳を傾けた。
IK地域研究員とは財団法人石巻地域高等教育事業団からの地域研究費

「ふじ丸」出航セレモニー SWOが力強い演奏

理工学部生物生産工学科助教が「宮城県女川湾で養殖されているホタテガイに寄生する生物の鉛直分布と寄生時期に関する研究」(寄生を回避しながらホタテガイ養殖は可能か?)について、7月3日は福島美智子・同学部基礎理学科教授が「石巻地域由来の天然素材を用いた重金属元素の捕集法の開発」について発表



▲明るく盛り上がる曲を力強く演奏

日本チャータークルーズの豪華客船「ふじ丸」(2万3235ト)が6月22日、石巻港雲雀野地区に入港した。入港歓迎として、自身もツアーに参加する高橋賢志石巻信金理事長があいさつした。

生物生産工学科 1年次生が臨海実習

理工学部生物生産工学科の1年次生を対象にした「臨海実習Ⅰ」が5月と6月に行われた。この実習は同学科の大越健嗣教授が担当し、陸と海の接点である海辺に生息するさまざまな生物を観察することにより、多様な生物の存在を知ることとを目的としている。
5月10日の実習では、履修者約60人が石巻市の田代島まで出掛けた。当日は天候にも恵まれ、磯に生息するさまざまな生物を観察し、その種類と分布について理解を深めた。
6月7日には同市の万石浦大浜地区の潮干狩り場で干潟に生息する生物の種類

ホームページをリニューアル

受験生、ご父母にも見やすさ第一に

「大学発信の情報」をこれまで以上に重視し、見やすさを基本にリニューアル。在学生、ご父母、受験生はもちろん、開放講座、出前授業など、一般対象のイベント情報も充実させていきます。

と分布について学んだ。
このほか、3年次生対象の「臨海実習Ⅲ」(担当・太田尚志准教授)は9月9日から12日に、2年次生対象の「臨海実習Ⅱ」(担当・鈴木英勝助教)は同17日から19日に、いずれも南三陸町自然環境活用センターで行う予定。
この日は曇りで、時折霧雨のようにばらばらと雨が降るあいにくの天候だったが、吹奏楽研究会はアトラクションで「風にならなりたい」「宇宙戦艦ヤマト」など、明るく盛り上がる曲を力強く演奏。ツアー客や見送りの客、「ふじ丸」をひと目見ようと詰めかけた市民から大きな拍手が送られた。